

第6回子どもにやさしいまちづくり委員会 グループワークの報告（概要）について

1 内容

松本市子どもにやさしいまちづくり推進計画のうち、中間報告の4つのテーマについて、まつもと子ども未来委員と子どもにやさしいまちづくり委員が、意見交換（グループワーク）を実施しました。

【4つのテーマ】

- ① 子どもの権利の普及と学習への支援
- ② 子どもの相談・救済の充実
- ③ 子どもの意見表明・参加の促進
- ④ 子どもの居場所づくりの促進

2 参加者及びグループ編成

(1) 全体進行 荒牧会長

(2) グループ編成

グループ	A	B	C	D
まちづくり 委員会	豊嶋委員	森本委員	臼井委員	西森委員
	大月委員	一ノ瀬委員	柳澤委員	山口委員
	吉澤委員		神津委員	
未来委員会				

3 子ども達から出された主な意見（新たな取組みへの提案等）

(1) 子どもの権利の普及と学習への支援

ア 子どもの権利の学習パンフレットや権利ニュース等は、文字数をもっと減らし、イラストや漫画、印象に残るフレーズ等を載せるなどすると良い。

イ こころの鈴の周知方法は、カード以外にも下敷きや消しゴム、クリアファイル等、子どもの手元に残る物を作ると良い。

ウ 子どもの権利に関する配布物については、単に配布して終わるのではなく、学校の先生からの説明や子ども同士で話し合う機会を設ける等、工夫があると良い。

エ 人が多く集まる施設（イオンモール等）で、子どもの権利に関するイベント等を開催したり、多くのサポートがいるプロスポーツチーム（松本山雅）とタイアップしたりとして、PRすると良い。

(2) 子どもの相談・救済の充実

ア 知らない人に相談するのは勇気がいるので、優しくそうな人や身近な人（友達の親等）、歳の近い人等、相談しやすい人がいてくれると良い。

イ 親に相談すると心配しすぎてしまうので、親に気付かれないようにするため、また、自分の中で相談したいことを整理するためにも、手紙で相談ができると良い。

ウ 学校内でも、いじめや子どもたちの状況、家庭での状況等について、話し合ってもらい（情報共有）、問題があると感じれば、早めに関係機関等に繋げるといった対応をしてあげると良い。

(3) 子どもの意見表明・参加の促進

ア まず、未来委員会の活動を知ってもらうことが大切。未来員会の募集ポスターに委員の顔写真を入れて、友達から声をかけてもらえるようにしたり、紙媒体だけでなく動画を活用したりすると良い。

イ いろいろなイベントに未来委員会が参加したり、未来委員会の活動を周知したりと、参加者数を増やすことで、未来員会の活動や未来委員会に似た活動が広がっていくと良い。

ウ 地域住民（大人）と一緒にいろいろなことを話したり、意見を聞いてもらったりする機会があると良い。

(4) 子どもの居場所づくりの促進

ア 公園や児童館・児童センターなど、身体を動かして遊ぶ場所はたくさんあっても、静かに落ち着いていられるところは限られている（図書館は静かな場所だが、市内に数箇所しかない）。

イ いつでも、だれでも、無料で使える居場所（ゲームができる場所、思いきり外遊びやボール遊びができるグラウンド、カフェのような場所等）が欲しい。

ウ 優しく、子どもの意見をしっかり聞いてくれる人がいる場所があると良い。